

鎌倉市建築確認データベース等作成及び建築総合情報システム構築業務
企画等提案選定基準

令和6年（2024年）7月

鎌 倉 市

1 はじめに

本選定基準は、鎌倉市建築確認データベース等作成及び建築総合情報システム構築業務（以下「本業務」という。）の委託業者を選定するにあたり、応募者が提出した参加表明書及び技術提案書などの内容について、客観的に評価する基準として作成したものです。

2 審査会について

（1） 審査会の設置

最優秀提案者を選定するために、「鎌倉市建築確認データベース等作成及び建築総合情報システム構築業務企画等提案審査会」（以下「審査会」という。）を設置します。

（2） 審査会の委員

審査会の委員は、鎌倉市建築確認データベース等作成及び建築総合情報システム構築業務企画等提案審査会により、以下の委員7名をもって組織します。

吉田 寛樹	共生共創部行政マネジメント課長
那須 文嘉	共生共創部デジタル戦略課長
山戸 貴喜	総務部財政課長
池田 正	都市景観部都市調整課長
野中 宗範	都市景観部開発審査課長（都市景観部次長）
平井 豊一	都市景観部建築指導課担当課長（建築指導担当所管）
須山 暁	都市景観部建築指導課担当課長（建築審査担当所管）

3 審査方法

（1） 技術提案書等の審査

参加表明書及び技術提案書等の内容について、本業務の趣旨を勘案し、次頁のとおり評価項目及び評価基準を設定して、配点します。

審査は審査会で実施し、参加表明書及び技術提案書等の審査並びにプレゼンテーション・ヒアリングにて審査します。各評価項目の評価基準を基に採点し、その評価点を合計した総合評点により、提案書の優劣を決定します。

得点が同点となった場合は、特定テーマの点数が高い者を上位とします。特定テーマの点数も同点の場合は、見積価格が廉価な者を上位とします。さらに、見積額も同額の場合は、審査会で決定するものとします。

（2） 委託業者の決定

審査会における最優秀提案者の選定結果を基に委託業者を決定します。

また、次点者を次点交渉権者として決定します。

なお、技術提案者が1者の場合も有効なものとして扱うものとし、その場合は、審査会で設ける最低基準点を上回ることを選定の要件とします。

4 技術提案書等評価基準

各提出書類の評価項目及び評価基準は、以下のとおりです。

評価項目		評価項目	評価の基準
(1)	業務実施体制等 (25 点／14.7%)		
	会社の業務実績 10 点	実績	・業務実績の業種は適切か。(H26～R5 の実績) ・GIS を活用した建築確認申請台帳のデータベース作成及びシステム構築について地方公共団体からの受注実績を有しているか。 ・情報の検索から書面の交付、金銭授受までをオートメーション化した窓口システム構築について、地方公共団体からの受注実績を有しているか。
	取組体制 5 点	意欲的 確性	・十分な取組体制は築けているか。 ・適切な技術者を配置しているか。 ・取組体制から意欲は感じられるか。
	プレゼンテーション・ヒアリング での対応 10 点	的確性 積極性	・技術者の対応は的確か。 ・本業務への適応性はあるか。
(2)	業務方針等 (20 点／11.8%)		
	業務方針・工程計画	理解度 的確性	・業務内容を十分に理解しているか。 ・課題認識が適切か。 ・実施方針は的確か。
		企画の 的確性	・業務工程は適切に組まれているか。 ・工程に実現性はあるか。
(3)	システム機能適合状況 (10 点／5.9%)		
	機能一覧適合状況	実現性 的確性	・機能要件に対応できているか ・未実装のものは実装に向けた工程が考慮されているか。
(4)	将来的な展開を見据えたシステム構築の提案について (105 点／61.8%)		
	〔特定テーマ〕 ①オンラインでの 証明書等交付事務に関する提案 25 点	的確性	・本事業の特性を踏まえた的確な課題把握がなされているか。
		実現性	・機能拡張や運用イメージは適切で、実現性があるか。
		将来性	・建築行政の電子化推進に関する変化や、他業務への展開等に柔軟に対応できる提案か。
	〔特定テーマ〕 ②震災建築物応急 危険度判定活動に関する提案 25 点	的確性	・本市及び本事業の特性を踏まえた的確な課題把握がなされているか。
		実現性	・機能拡張や運用イメージは適切で、実現性があるか。
		将来性	・建築行政の電子化推進に関する変化や、他業務への展開等に柔軟に対応できる提案か。
	〔特定テーマ〕 ③キャッシュレス 決済対応に関する	的確性	・本市及び本事業の特性を踏まえた的確な課題把握がなされているか。
		実現性	・機能拡張や運用イメージは適切で、実現性があるか。

	る提案 25 点	将来性	・ 建築行政の電子化推進に関する変化や、他業務への展開等に柔軟に対応できる提案か。
	〔その他〕 特定テーマ以外に 関する提案 30 点	的確性	・ 本市及び本事業の特性を踏まえた的確な課題把握がなされているか。
		実現性	・ 機能拡張や運用イメージは適切で、実現性があるか。
		将来性	・ 市民サービスの向上や職員の業務効率向上につながる有益な提案か。
(5)	見積 (10 点／5.9%)		
	見積書	経済性	・ 経済性が優れているか。
最低基準点は評価点合計の 60%以上かつ特定テーマ①～③において各評価点 10 点以上とする。			